

平成30年度 ワカメ養殖情報第2号 (平成30年10月22日)

- 15°C以下の水温帯は、道東沖を南下しており、その南端は黒埼沖110海里(204km)にあります(図1)。
- 本県沖合における栄養塩の表面分布は前年同時期よりも高めの値でしたが(図2)、県南部湾内定点の栄養塩は前年同時期よりも低めの値となっています(10/24)。
- トドヶ埼沖と椿島沖では、11月中旬から下旬にかけて栄養塩が20 μg/L以上となる確率が80%以上と予測しています(図3)。
- 栄養塩や水温の動きに注意し、巻き込み作業の準備を進めて下さい。

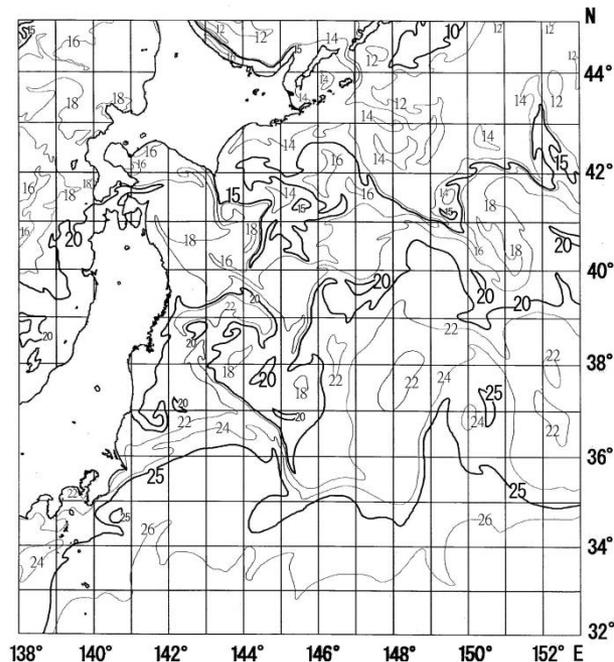
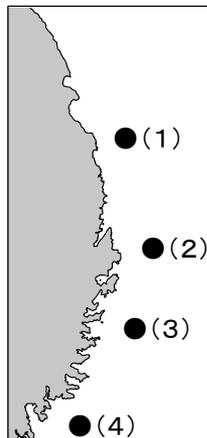


図1 本県沖合における表面水温分布(10/21~22)



図2 本県沖合における栄養塩の表面分布(μg/L)



(1)黒埼 2018年11月

日		月	火	水	木	金	土
					1	2	3
					5%	5%	5%
4	5	6	7	8	9	10	
9%	9%	9%	9%	9%	14%	14%	
11	12	13	14	15	16	17	
14%	14%	14%	14%	18%	18%	23%	
18	19	20	21	22			
27%	32%	32%	32%	36%			

(2)トドヶ埼 2018年11月

日		月	火	水	木	金	土
					1	2	3
					70%	70%	74%
4	5	6	7	8	9	10	
74%	74%	74%	78%	83%	83%	83%	
11	12	13	14	15	16	17	
83%	83%	83%	83%	83%	83%	83%	
18	19	20	21	22	23		
83%	83%	83%	87%	87%	87%		

(3)尾埼 2018年11月

日		月	火	水	木	金	土
					1	2	3
					17%	17%	17%
4	5	6	7	8	9	10	
25%	29%	29%	33%	33%	33%	33%	
11	12	13	14	15	16	17	
38%	38%	42%	42%	42%	50%	50%	
18	19	20	21	22	23		
50%	50%	54%	54%	54%	58%		

(4)椿島 2018年11月

日		月	火	水	木	金	土
					1	2	3
					17%	22%	30%
4	5	6	7	8	9	10	
35%	43%	48%	52%	61%	65%	65%	
11	12	13	14	15	16	17	
74%	74%	74%	74%	74%	78%	78%	
18	19	20	21	22			
83%	87%	87%	87%	87%			

図3 10マイル定点の栄養塩が20μg/L以上となる確率(予測結果)

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。沖合栄養塩の分析は「環境省平成30年度地域適応コンソーシアム北海道・東北地域事業委託業務」における「海水温の上昇等によるホタテガイ及びワカメ等の内湾養殖業への影響調査」の一環で実施しています。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。

※当情報は水産技術センターホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>